令和８年度　第５回飛騨市公共施設在り方検討部会　議事要旨

日　　時	令和 8 年 10 月 26 日（月）16 時 02 分～18 時 27 分
場　　所	飛騨市役所　西庁舎 3 階　大会議室
出席委員	有識者（１名）、各町の区長会長（３名）、専門委員（市内各種団体推薦者８名） 計　１２名
関係部署	財政課　土田治昭課長 地域包括ケア課　佐藤博文課長 まちづくり観光課　竹田慎二課長 スポーツ振興課　中垣浩太郎課長 河合振興事務所　川邊哲生次長 宮川振興事務所　清水則久所長 神岡振興事務所地域振興課　麻生貴秀課長
事 務 局	建築管財部　田中義也部長 管財課　西田博和次長兼課長、澤田充弘課長補佐兼係長、渡邉康智主幹
主な議事	・検討２０施設の方向性、着地点、影響緩和施策について

議　事　要　旨

【事務局説明事項】

①部会の役割と目標について（再掲）　資料No１

②検討部会における定性評価と配置（まとめ）　資料No２

③【参考】定量指標に費用対効果を加えた評価・配置　資料No３

検討２０施設の方向性、着地点、影響緩和施策について

【総括事項】

・前回までの部会における委員からの意見や、定量・定性評価における各施設の位置付け等を踏まえて作成された「部会長案」をたたき台として審議を進めた。
・あくまでも一例として示した影響緩和施策を、あたかも決定事項のように捉えて議論されたため、これらを提言書には記載せず、廃止の方向性となる施設については、全体の方針として、行政が地域住民の意見を取り入れた緩和策を検討するというような記述とすることで合意が図られた。
・全体として、着地点は、可能なものは民間譲渡が基本であるが、ほとんどの施設において、現在市から指定管理料が支払われており、現実的には難しいだろうとの認識が示された。
・民間譲渡或いは貸付を行う期限を決めておく必要があるのではとの意見から議論が進み、３年を目途とすることで合意が図られた。
・今回、２０施設の方向性が一旦決まったが、次回部会にてもう一度全体を確認の上、補足意見等についても議論いただき、最終的な形にまとめていく。

【各施設の方向性等の結論】

１．温浴施設

⑴　すぱーふる

方向性：廃止　　着地点：機能集約・移転

⑵　ゆぅわ～くはうす

方向性：継続　　着地点：一部機能廃止（温浴機能）

・一部委員から、河合・宮川地域に温浴施設が無くなることへの住民感情も懸念され、全体目標に掲げた削減額の達成見込みを踏まえて、温浴機能も継続しても良いのではとの意見が出され、温浴部分に係る大規模改修費の所要見込額も参考に議論を深めることになった。

⑶　Mプラザ

方向性：継続　　着地点：現状の機能維持

⑷　割石温泉

方向性：継続　　着地点：現状の機能維持

⑸　おんり～湯

方向性：廃止　　着地点：機能集約・移転

・施設規模が過大で、維持管理費が嵩んでおり廃止の方向となることはやむを得ないが、施設総量削減の方向の中で、規模に関わらず新たな代替施設を整備することに対して、一部委員が強い違和感を示された。

２．宿泊施設①

⑴　まんがサミットハウス

方向性：廃止　　着地点：機能集約・移転

・おんり～湯への意見と同様

⑵　ホテル季古里

方向性：廃止　　着地点：民間譲渡・貸付

⑶　やまびこ館

方向性：継続　　着地点：現状の機能維持（民間譲渡をベースとして当面維持）

⑷　板倉の宿種蔵

方向性：継続　　着地点：現状の機能維持（民間譲渡をベースとして当面維持）

３．宿泊施設②

⑴　なかんじょ川

方向性：廃止　　着地点：民間譲渡・貸付

⑵　アスク山王

方向性：廃止　　着地点：民間譲渡・貸付

⑶　ナチュールみやがわ

方向性：廃止　　着地点：民間譲渡・貸付

⑷　流葉オートキャンプ場

方向性：継続　　着地点：現状の機能維持（民間譲渡をベースとして当面維持）

⑸　山之村キャンプ場

方向性：廃止　　着地点：民間譲渡・貸付

４．人工芝グラウンド

⑴　ふれあい広場　　⑶　流葉交流広場　　⑷　杉崎公園グラウンド

方向性：継続　　着地点：現状の機能維持

・人工芝張替の優先順位としては、①杉崎、②流葉、③ふれあいの順とし、施工時期については、芝の劣化状況、市の財政状況等を踏まえて判断するものとする。

⑵　古川ラグビー場

方向性：廃止　　着地点：機能廃止

５．スキー場

⑴　飛騨かわいスキー場

方向性：廃止　　着地点：機能集約・移転

⑵　ひだ流葉スキー場

方向性：継続　　着地点：現状の機能維持